

**エントリークラスのデジタル一眼レフカメラ“EOS Kiss X10i”を発売  
高精度 AF により快適な動体撮影を実現**

キヤノンは、ミドルクラスの機種に迫る高精度な AF 性能を備え、本格的な撮影を楽しめるエントリークラスのデジタル一眼レフカメラ“EOS Kiss X10i”を4月下旬に発売します。



EOS Kiss X10i  
\*EF-S18-55mm F4-5.6 IS STM 装着時

“EOS Kiss X10i”は、小型・軽量の「EOS Kiss X10」（2019年4月発売）から、AF性能や連写性能を高め、素早く動く被写体でも快適に撮影が可能です。日常のスナップから動体撮影まで、エントリーユーザーでも簡単に多様な撮影表現を楽しむことができます。

**■ 高精度 AF による快適な動体撮影**

動く被写体に対しても優れた捕捉性能を実現する「オールクロス45点AF<sup>※1</sup>」や、約22万画素の新測光センサーにより被写体の顔を検出して追尾する「EOS iTR<sup>※2</sup>AF」を搭載し、光学ファインダー撮影時に高精度な動体撮影を実現します。また、ライブビュー撮影時は、被写体の瞳を検出してフォーカスを合わせる「瞳AF<sup>※3</sup>」が、サーボAF/動画サーボAF時においても使用でき、快適な動体撮影を楽しむことができます。

**■ 約2410万画素 CMOS センサーと映像エンジン DIGIC 8 により高画質を実現**

有効画素数約2410万画素<sup>※4</sup>のAPS-CサイズCMOSセンサーと、映像エンジンDIGIC 8の組み合わせにより、最高ISO25600の常用ISO感度（拡張時：ISO51200相当）を達成し、室内や夜景などの暗いシーンでもノイズを抑えた撮影が可能です。また、4K<sup>※5</sup>動画の撮影を実現し、高精細な映像・写真表現を楽しむことができます。

**■ 撮影後の楽しみを広げるネットワーク連携**

Wi-Fiに接続されているスマホに撮影と同時に画像を自動送信できる「撮影時画像自動送信」を搭載しています。さらに、クラウドプラットフォーム“image.canon”（2020年4月上旬開始予定）へ、容量を気にせず静止画・動画をオリジナル画質のまま30日間保管することができます。

製品名	希望小売価格	発売日
EOS Kiss X10i	オープン価格	2020年4月下旬

※1 装着するレンズやアスペクト比の設定により、測距点数、クロス測距点数、デュアルクロス測距点数が変動。  
 ※2 intelligent Tracking and Recognition。測距エリア選択モードが「ゾーンAF」、「ラージゾーンAF」、「自動選択AF」時に機能。  
 ※3 「顔+追尾優先AF」、「瞳AF:する」時に機能。ワンショットAF、サーボAF、動画サーボAFで使用可能。初期設定では、カメラに近い方の瞳を自動選択します。同程度の距離の場合には、画像中央に近い方の瞳が自動選択されます。手動で任意の瞳を選択することも可能。  
 ※4 総画素数約2580万画素。  
 ※5 センサー中央部の画素をクロップした4K（23.98fps/25.00fps）で撮影可能。4K動画撮影時のフォーカス方式はコントラストAF、フルHD/HDではデュアルピクセルCMOS AF。AF方式は「顔+追尾優先AF」[1点AF]のみ使用可能。

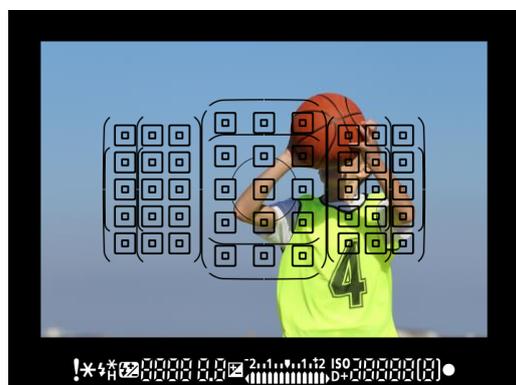
● 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター 050-555-90002  
 ● EOS ホームページ : canon.jp/eos

## <主な特長>

### 1. 高精度 AF による快適な動体撮影

- ・光学ファインダーにより、被写体の動きを時間差なく確認することが可能。
- ・動く被写体に対しても優れた捕捉性能を実現する「オールクロス 45 点 AF」を採用。
- ・約 22 万画素の新測光センサーと映像エンジン DIGIC 8 により、光学ファインダー撮影時に顔検出を実現。顔検出後、被写体の顔を追尾する「EOS iTR AF」で、動き回る人物の表情などを快適に撮影することが可能。
- ・光学ファインダー撮影時に AF 固定／追従で最高約 7.0 コマ/秒の高速連写を実現。また、ライブビュー撮影時には、AF 固定で最高約 7.5 コマ/秒、AF 追従で最高約 4.5 コマ/秒の高速連写が可能。スポーツや動物など動きの速い被写体の快適な撮影を実現。
- ・各画素が撮像と位相差 AF の両方の機能を兼ねる「デュアルピクセル CMOS AF」が従来機種「EOS Kiss X9i」(2017 年 4 月発売) から進化。ライブビュー撮影において、対応する交換レンズ装着時<sup>※</sup>には、撮像面の約 88% (横) ×約 100% (縦) の測距エリアを実現。AF エリア任意選択時は、ピントを合わせる位置を最大 3,975 ポジションから選択することが可能。また、AF エリア自動選択時、最大 143 分割の測距エリアで高速・高精度なピント合わせを実現。
- ・ライブビュー撮影時は、被写体の瞳を検出してフォーカスを合わせる「瞳 AF」が作動。サーボ AF／動画サーボ AF 時にも使用でき、動く被写体も快適に撮影。
- ・撮影スタイルに合わせて、消費電力の少ない光学ファインダーと撮影中もイメージを確認することができるライブビューを使い分けて撮影を楽しむことが可能。

※ 詳細はキヤノン公式ホームページをご参照ください。



オールクロス 45 点 AF



従来機種 (赤枠) からの測距範囲の拡大イメージ

### 2. 約 2410 万画素 CMOS センサーと映像エンジン DIGIC 8 により高画質を実現

- ・有効画素数約 2410 万画素の APS-C サイズ CMOS センサーと、映像エンジン DIGIC 8 の組み合わせにより、高い解像感を実現。
- ・静止画撮影時に、最高 ISO25600 の常用 ISO 感度 (拡張時 : ISO51200 相当) を実現。室内や夜景などの暗いシーンでもノイズを抑えた撮影が可能。
- ・高精細な 4K 動画の撮影を実現。任意のフレームを約 830 万画素の JPEG 画像<sup>※</sup>として切り出して、保存することも可能。

※ フル HD/HD 動画からのフレーム切り出しはできません。また、動画の 1 コマを静止画として保存するため、通常の静止画と同等の画質にはなりません。

### 3. 撮影後の楽しみを広げるネットワーク連携

- ・スマホなどの携帯端末への接続手段として、Wi-Fi/Bluetooth®に対応※1、2。初回にペアリング設定をすることで、カメラとスマホ使用時に Bluetooth で自動的に接続が可能。また、画像転送時は、Bluetooth から Wi-Fi へ自動的に切り替わるため、カメラ側での手動の Wi-Fi 接続操作が不要となり、簡単に画像送信をすることが可能。
- ・Wi-Fi に接続されているスマホに撮影と同時に画像を自動送信できる「撮影時画像自動送信」を搭載※2、3。動画撮影時には、カメラ側で 4K 動画をフル HD に変換して送信することで、4K 動画に対応していないスマホでもフル HD で再生可能※4。
- ・クラウドプラットフォーム “image.canon” (2020年4月上旬開始予定) へ、容量を気にせずに静止画・動画をオリジナル画質のまま 30日間保管することが可能。さらに事前に PC とカメラをペアリングしておくことで、カメラの電源を入れた状態で、起動中の PC へ撮影画像をバックアップすることが可能。



「image.canon」利用イメージ

- ※1 Bluetooth low energy 技術に対応。以降の表記においては Bluetooth と記載。Bluetooth 機能の動作条件は、接続機器が iOS/Android :Bluetooth 4.0 以上を搭載するデバイスです。ただし、上記の動作条件を満たす機器であっても、機種によっては、Bluetooth 接続ができない場合があります。Bluetooth 接続ができない場合、一部の位置情報付与の機能が使用できません。Bluetooth 接続ができない場合でも、機器と Wi-Fi 接続による画像の転送、リモート操作は可能です。なお、Bluetooth 接続には、事前にカメラと携帯端末をペアリングさせておく必要があります。
- ※2 カメラと携帯端末の Wi-Fi や Bluetooth での接続には、キヤノン専用アプリケーション「Camera Connect」のインストールが必要。
- ※3 オリジナルデータ (JPEG) やリサイズした縮小画像が送信可能です。
- ※4 4K 動画のまま転送することも可能ですが、スマホによっては再生できない場合があります。

### 4. 上位機種と同等の本格的な操作性

- ・上面のメイン電子ダイヤルと背面のサブ電子ダイヤルの 2 つの電子ダイヤルにより、光学ファインダーを覗きながら素早く設定を変更できるなど、高い操作性を実現。
- ・上位機種「EOS 90D」(2019年9月発売)にも採用されている「AF スタートボタン」を搭載。AF とリリース動作を切り離して撮影ができ、被写体の動きや構図に集中して撮影することが可能になるなど本格的な操作性を追求。
- ・バリアングル液晶モニターを採用し、ライブビュー撮影時や動画撮影時において、操作性と撮影アングルの自由度を生かした撮影が可能。



メイン電子ダイヤル



サブ電子ダイヤル



AF スタートボタン

### <商品構成（キット内容）>

名称	内容
EOS Kiss X10i ・ ボディー	EOS Kiss X10i
EOS Kiss X10i ・ ダブルズームキット	EOS Kiss X10i EF-S18-55mm F4-5.6 IS STM EF-S55-250mm F4-5.6 IS STM

### <レンズ交換式カメラの市場動向>

2019年の世界のカメラ市場におけるレンズ交換式カメラの販売台数は、約880万台となりました。2020年は、約750万台を見込んでいます。（キヤノン調べ）

### <主な製品仕様>

製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。

- \* Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、WPA™、WPA2™および Wi-Fi Protected Setup™は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- \* Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、キヤノン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- \* iOS は、米国およびその他の国々における Cisco 社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- \* Android、Google Drive は Google LLC の商標です。
- \* その他、記載されている会社名、製品・サービス名は一般に各社の商標または、登録商標です。